

35mmフルサイズ12メガピクセルのCMOSセンサーを搭載し、
 業界トップクラスの最低被写体照度を実現。
 夜間でもごく少量の光源でカラー撮像が可能で
 交通監視や港湾、河川監視に適した4K対応ネットワークカメラ。

4K



最低被写体照度0.004ルクス (カラー、30IRE) を実現

35mm フルサイズ 12メガピクセルのCMOSセンサーの採用により4K対応ネットワークカメラとして業界トップクラスの最低被写体照度を実現しました。夜間でも少量の光源でまるで昼間のようなカラーでの撮像が可能です。港湾や河川など照明が少ない環境や夜間でも早いシャッタースピード設定ができ、交通監視などに適しています。



実際の視覚イメージ



SNC-VB770の撮影画像

4K解像度 (3840×2160ピクセル) の高画質

フルHD (1920×1080ピクセル) の4倍の解像度を持つ4K解像度の高画質映像を最大30fpsで出力できます。

豊富なレンズバリエーション

別売のEマウントレンズを装着することができます。複数の対応レンズがあるため、さまざまな環境、用途に応じてお選びいただけます。推奨レンズについては、ホームページをご覧ください。

インテリジェントコーディング*1

指定した特定の領域 (ROI : Region Of Interest) のみを高画質 (低圧縮率) でエンコードし、それ以外の領域は低画質 (高圧縮率) でエンコードすることによりネットワーク帯域を抑制します。ROIは最大8つの領域を指定でき、指定する領域は静的な領域のほか、動体検知に連動して追尾が可能な動的領域*2も設定できます。

*1: インテリジェントクロッピングとの併用はできません。

*2: 動的領域は8つのROIのうち最大4つまで設定できます。また、4K 30fpsモードの場合、動的領域は設定できません。静的領域のみ設定可能です。

● 掲載の価格には、配送設置・工事・接続調整などの費用は含まれていません。

インテリジェントクロッピング*

4K解像度で撮影した画面内から、特に注目したい領域を指定し、VGA解像度なら最大4つ、フルHD解像度なら最大2つまでを切り出すことができます。切り出す領域は静的な領域のほか、動体検知に連動して追尾が可能な動的領域も設定できます。この切り出し映像とあわせ、全体の俯瞰映像をフルHDで取得すれば、画像全体を4Kで取得する場合に比べ帯域を抑制、記録容量も削減することができます。

*: インテリジェントクロッピング使用時の最大フレームレートは10fpsとなります。また、View-DRは使用できません。

エビデンスショット

4Kを超える12メガピクセル (4240×2832ピクセル) の高解像度でJPEG静止画像を取得することができます*。撮影済みの映像を拡大すれば監視対象を細部まで詳細に確認することができます。また、静止画と並行して1440×960ピクセルの動画 (H.264/5fps) を取得することもできます。

*: 最大フレームレート2.5fps

その他の機能

- 無線LAN対応のスマートフォン/タブレット端末で画角調整可能
- ワイドダイナミックレンジ機能「View-DR」を標準装備
- HDMIインターフェース
- エッジストレージ機能*1 *2
- ONVIF*対応

*1: エッジストレージ機能は補助的な簡易記録機能としてご利用ください。常時記録でのご利用にはレコーダー/レコーディングソフトウェアのご利用を推奨します。一般にSDメモリーカードには寿命があり、長期間にわたる記録を行った場合、メモリーカードの寿命によって記録が停止する場合がありますので定期的に映像の記録状態を確認するなどの注意が必要です。また、エッジストレージ機能には記録件数の上限があり、上限に達した場合古いファイルから自動的に上書きされていきます。映像が記録されたメモリーカードをPCに挿入し、PC上で直接映像を再生することはできません。

*2: SDメモリーカードは弊社推奨品をご利用下さい。

ネットワークカメラ/防犯・監視システムの
 ホームページをご覧ください

sony.jp/snc/

